



城北小だより

9月号

さいたま市立城北小学校 令和4年8月26日

児童数 714名

TEL048-757-5391 発行者 中村 篤

STEAMSで探究的な学びへ

校長 中村 篤

長い夏休みがあつという間に終わり、本日より2学期が始まりました。この夏、東京都心の年間の猛暑日（最高気温35℃以上）日数は、1875年の統計開始以来、歴代最多日数を更新したそうです。依然として新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、また、熱中症が心配される中、無事に始業式を迎えることができたのも、子どもたちの生活を見守ってくださった保護者・地域の皆様のご協力によるものと感謝申し上げます。

さて、お子様は夏休みの宿題を早めに終わらせることができたでしょうか。私の小学5年生の息子はご多分に漏れず、最終日までかかってしまいました。私「宿題は進んでいるの?」、息子「大丈夫、大丈夫」というやりとりを何度もした結果がこれです。親として何とかしなければという気持ちで、課題の自由研究を少しだけ手伝うことになりました。テーマは「ミョウバンの結晶づくり」です。短期間でできる簡単な実験なのですが、息子はスーパーにミョウバンを買いに行くことで、ミョウバンが料理に使われていることや、きれいな結晶を作るためには、水に溶かすミョウバンの量や温度管理を試行錯誤しなければならぬことなど、いろいろなことを学ぶことができたようです。このことが、私の理科の教員魂に火をつけ、簡単に透明度の高い結晶を作る方法について息子と研究を続行中です。手軽にできると思って始めたテーマでしたが、ここまで深く探究することになるとは考えてもいませんでした。

さいたま市では、「新たな価値を創造し、未来社会をリードする人材の育成」、「複雑に変化する現代社会において、自己実現できる市民の育成」を目的として、「さいたまSTEAMS教育」を推進しています。本年度から、全国の自治体に先駆けて、全ての市立小・中学校において、S (Science) T (Technology) E (Engineering) M (Mathematics) を中核に据えた Project Based Learning (探究的な学習) を「STEAMS TIME」として教育課程に位置付け実施します。

本校においても、3年生から6年生の総合的な学習の時間で、プログラミング的思考を育む内容について3時間、創造性を育む Project Based Learning (探究的な学習) について6時間、各学年合計9時間取り組みます。新たな取組のため、2学期以降の実施に向けて夏休み中に教職員の研修会を実施しました。授業でのタブレット端末の活用法について学んだり、河合小学校と城北中学校の教職員との合同研修会では、実践事例の報告や今後の取組について協議を行ったりしました。この研修を活かし、「STEAMS TIME」が子どもたちの充実した活動となるよう、実践してまいります。

また、2学期は、6年生の修学旅行、5年生の自然の教室、校内音楽発表会、校外学習など、様々な行事が予定されています。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況にありますが、学びを止めないよう、引き続き感染症拡大防止対策を徹底して教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様には、一層のご理解・ご支援を頂けよう、よろしく願いいたします。